明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月十四日（土曜日）　第百八十七號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●我が信條

◎處世論　南外隱士

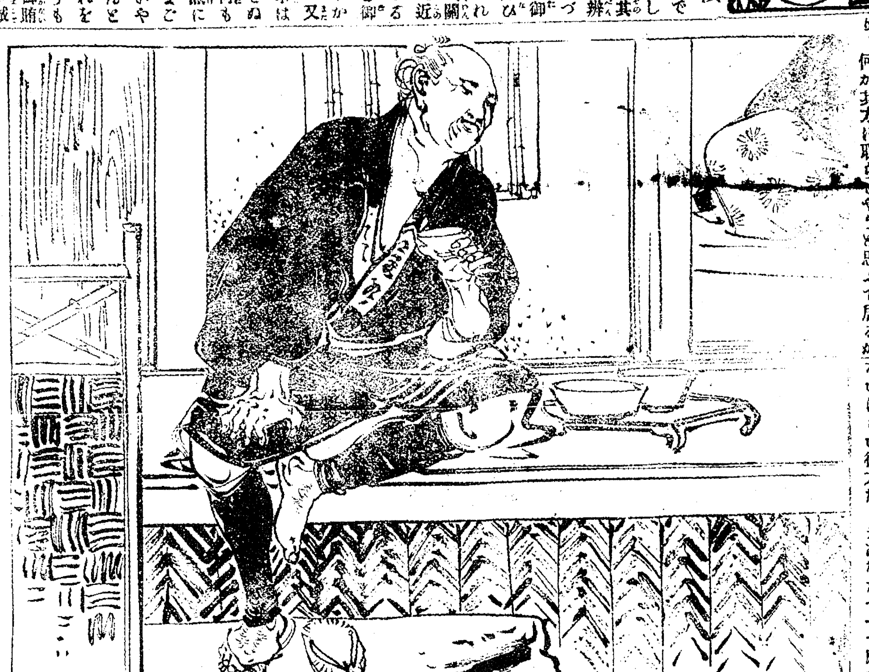
第二には何よりも自己を信頼し自己を助成する方針をとつて進むと云ふ事である、天は自から助くるものを助く、人は自分を信頼し自分を磨きたてるといふ方針をとつて進まなければならぬ、世の中には人をたよりて世を過してれるものが非常に多い或は人から讓られた財産をもつて立ち、或は權威ある人に引き立てられて自分の技倆以上の地位を保つて居る人もある、一寸見ると美しい樣であるが而しよく考へて見ると少しも羨むべきことではない、寧ろ憐れむべき事と思ふ、財産を貰うて立てる人を考へて見るとその財産は何時なくならないとも限らない、兎角人から貰うた財産は得て無くなり易いものである、自分が貯めた十圓よりは人から貰うた百圓の方が早くなくなり易い、若しその財産に全然依賴して居る人が一朝財産から離れた時は如何であらう彼は木から落た猿で、とり附く島もなく返り見る人も有るまい、そこに行くと無一物でも一日働らいて一圓得ることの出來る人の方が遙かにましではあるまいか、又人に引き立てられて行くものに付て考へて見ると、是は恰かも嬰兒が母に手をひかれてあんよは上手と導かれ行く樣なものである、若し其の母が手を離したならば倒れて仕まうに定まつて居る、又如何に母の手を持て引き立てられたからといつて八疊の間を往復することは出來ない、況んや二階に昇ることれやである、此の點に於ても他人の手をからず一歩たりとも歩行し得るものは人手にすがりて五六歩ゆくものに比して勝ること萬々であらうと思ふ、而して八疊の間を往復し二階に昇るさいふ段になると必ずやかの人手にすがるものに先んずること數等であらう、抑々人にたよると云ふことは一面に於いて獨立を失つて居る形である、獨立なき人は生存の甲斐が無い人である、人は何處までも自ら信頼し自ら助けて自已の獨立存在を計らねばならぬ、誰にもたよらず自ら信頼し自ら助くるものには天といふ味方が出來る、天は自ら助くるものを助くとは此の事である、天が助けるとは結局世間から尊重せられ信頼せられ世の中の大立物になるといふ意味である、世界の偉人大學者大發明家など云はるゝ人々は親の臑をかぢつたり權威ある人に引きたてられた樣なものゝ中から出て居ない、ろんな人は決して大なる人となり得ない、此世界の歴史を飾つて居る偉人と云ふ樣なものは何れも幼少より自分で自分の身の上を始末し自分自ら努力してその進路を開いた人である大なる發明は却て秩序ある教育を受けない貧しき偉人の手によつて爲されて居る、之れを見ても人によらず自ら信頼し自ら助くるといふことが最良の處世策であることがわかる。

第三には過去を語らず未來を思はず唯現在を考へて著實なる生活を續けて行くと云ふ事である、西に行くか東に行くか大體の方針は定めて置かふけれども愈々其の方向に進むには唯七八間前を見て行けばよいのである、それを十里前二十里前も見て行くと石に躓いたり穴に落ちたりし易いのであるたゞ一日を如何にして過すべきかを考へこれを一日中に於ける問題として行けば澤山である、一日を充分に自分の一日として今日一日は生きて居た甲斐があつたといふ生活をつゞける樣にしなければならぬ（續）

中山大納言

第廿四席　桃川燕玉演

前の鷹司資平公は、參内を遊ばして禁中で御晝食をなさいます、所司代から賄料として白銀二枚づゝ差上げる、所が資平公は其實御館から辨當を御取寄せになつて、手辨當で濟ましてれしまひなさる、白銀二枚づゝは悉皆懐中へ御收めなさる、さう云ふ御方で居らつしやるから關東の諸役人が賄ひなどを差上げますれば喜んで御收めなされ隨分不都合があらせられまして、遂には關白を勅免になりました、其後へ乘出した近衞殿、此御方は潔白の御方、參内をなさる扨料理の用意を致し、召上るであらうと御沙汰を待つて居るさ少しも御上りがないから用意をしたものは悉皆餕して仕まふ。又賄料と云つて現金で出すなどゝ云ふ事は元より潔白で居らつしやるから出來ませぬ平常御上りがないから今日も相變らず何も御上りがないかと迂潤して居ると、突然に二十人前位の料理の仕度をさせるサアまごつくの何の、それでは此次に差支のないやうにと、毎日二三十人前の料理をちやんと仕度して置くと蘊張り召上らない、其れを亦餕してしまふ。之が爲に所司代がどうも弱つた弱らないの結局鷹司殿の時に御賄料として白銀二枚づゝ差上げた、其方が誠に輕便くつて宜かつた、どうも潔白なる事も一方でございませぬ。故に中山大納言殿平素悉く御入懇でいらつしやいまする。此中山愛親と仰有る御方は上を尊み下を憫み誠に當時御公卿樣の中では有名の御方、此中山樣へ始終御出入を致しまする權六と云ふ植木屋がございまする。植木屋なとゝ云ふ者は何れへ參りましても主人と親しく御話の出來まするもの、職人衆の中では植木屋さんなどは誠に良い職だ、大納言殿が毎度庭へ御出ましになつて、親しく權六へ御話をなさる、誠に篤實な男で、大納言大層御意に協ひました。或日の事相變らず權六が庭で仕事をして居る、愛親卿其邊を頻りに運動を遊ばして居らつしやいたが　愛「權六……　權「ヘイ　愛「今日は仕事はもう大概濟んだか　權「ヘイ、あとは明日に致しまして今日は是で仕舞ひます　愛「ア、左樣か、此方へ參れ、酒を一杯取らせやう　權「どうも有難う存じます　愛「サア〳〵此れへ來やれ」中山樣は御座敷へ御上りなすつて、權六は樣側へ腰を掛けます所へ御膳を下すつて　中「麿は此で自ら注いで飲む其方は其れで勝手に飲め　權「ヘイ〳〵有難う存じます、御遠慮を申しませぬで頂戴致します」權六爺頻りにガブリ〳〵手酌で旨さうに飲んで居ります　愛「其方は誠に無邪氣な奴、永年當家へ出入り、何か其方に取らせやうと思ふて居るが扨汝の心に叶はぬ物を取らしても詮ない事其方の氣に入つた物を遣はす、何か欲しい物があらば望め　權「有難う存じます、イヤまあ止しませう　中「遠慮致すに及ばぬ、何か取らせやう　權「どうも別に遠慮も致しませぬが此方樣が工面の宜い御方だと何でも私が御强請事を致しますが、此方樣は貧乏で居らつしやるから、又懐中を痛めると後で誠に御氣の毒でそれが爲め氣の毒な思ひをしてはなりませぬから、まあ〳〵止しましせう」中山樣御笑ひなされまして　中「成程、麿は貧乏だ、併し其方へ物を取らせる位の事は差支はない　權「巧く仰有る、中山樣と云つたらもう平常から貧乏な御公卿樣、私はもう知つて居るんだから、彼れを呉れ此れを呉れと御强請事は致しませぬ　中「イヤ〳〵左樣申さいで何か望め、麿も言出した事だから何か遣はす　權「左樣ですか、それぢや一つ願ひませう、私もこれ植木屋の權六で生涯終るのは如何にも殘念、と云つてもう此歳になつてどうする事も出來ませぬ、あなた樣は御公卿樣も多く居らつしやる中で貧乏はなすつて居らつしやるが……　中「能く貴樣は貧乏〳〵と言ふ、それだけは除いて話をしろ　權「ヘイ誠に相濟みませぬが、御公卿樣の中で大層幅の利かつしやつた何でもあなたの仰有つた事は通らない事はないくらい御方だ、デあなたへ一つ願つたら叶ふだらうと思ふ、どうか一つ御頼り申し升　愛「何だ　權「どうか私に位を戴きたいもので、どうも植木屋の權六では誠に價値がないから、人間なら位が無くちやいけませぬ、まさか從一位だの、正一位なんとそんなえらいのは御遠慮致しますが、一つ從五位位の所を戴きたいもんでございますが何うでございませう」中山公御笑ひなすつて　中「位を呉れ、それはいかぬ　權「いけませぬかな　中「いかぬと云つて考へて見ろ位は天子の制禁にして私に非ず、麿が力にはとりや行かぬ　權「ろれぢやアもう外に何にも望む物はございませぬ、幾ら物を呉れるつたつて、みす〳〵貧乏を知つて居ながら……　中「又始めたな貴樣　權「物をれ強請申すのは誠に嫌だ、まア位なんぞを下さるのはあなたの懐中が別に痛まないから、私も好しれ前さんの好からうと兩爲を思つて願つたんだが、あなたの御力に及ばないと仰有りやアもうそれ迄の事、ぢやアまア止しませう。



▲夏季飲料　ブランデー・ブドー酒・ウイスキー・シャンパン　キリンビール・金線印サイダー・シガー・シガレット　卸小賣

歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　金銀寶美術品　直輸入商

京城本町二丁目　同　三丁目　辻屋　本店 電話二四八番　支店 電話三六六番

朝鮮紳士錄

京城理事廳認可　豫約特價金參圓　總クロース金文字入

豫約募集

本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候

申込締切期日　八月十五日
送本期日　九月十五日

登載事項（政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、倶樂部組合）

發行所　京城西小門通　京城新報社

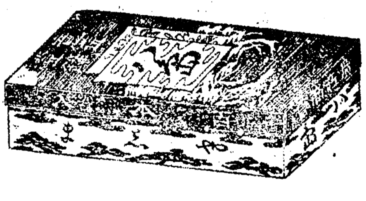
豫約申込所　本町二丁目 日韓書房　本町三丁目 文林　新王城前 盛文堂　北署安洞 大韓書林　中署廣橋東邊 匯東書館　中署罷朝橋越邊 中央書館　南大門通 義生盛號

本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからざる要書に有之候

豫約募集

中元の贈答用に好適

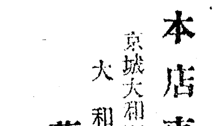
卷莨　八島



百本入金廿錢

京城　廣江商會　電話五七六番

東京



正札付大安賣　厘毛引なし安心して買へ升

本店東京　京城大和町一丁目日の出橋際　大和屋　藤井出張店　電話二百〇五番

龍　最上醬油

廣告

馬車配達　滋養と牛乳　衛生と消毒　純良 牛乳　京城東四軒町　岡野牧場　電話壹〇六九番

三一館　焦心單志多年爲斯道鑽研於微義奥旨恍然似有得者但鑑推脈斷暾暾茫洋辭意過脇索面經蔑也　京城本町五丁目　易斷觀相教授　通信判斷一件一圓特別二圓

美術半衿帯上帯締其他紐類各種新荷着夏物大安賣
京城明治町一丁目 金ゐり徳商店

京城新報

小官業の廢止

聞く處に依れば韓國政府は從來の方針を一變して近き將來に於て小官業の廢止を斷行すべしと云ふ、現今の如く韓國政府の財政窮乏の時に當りては將さに斷行すべき事なりとす、余輩をして遠慮なく言はしむれば當局者の覺醒が頗る遲かりしことを遺憾とせずんばあらず。

韓國の產業狀態は由來頗る幼穉にして數年前迄は殆ど自作自活の經濟狀態にありて近世的の工業なるものは全く絕無なりき、日本人が韓國政府の顧問となり亦官吏となるに及で韓國將來の爲に計りて其政費を割きて諸種の工業を興すに至れり、是れ一は事情の必要に迫られてなしたることとなるべし、局に當るものゝ此舉に出づるは強ち無理ならぬ事ならんが、其結果として興起せるものは印刷事業、煉瓦事業、製鹽事業等也、然るに此等の事業が政府經營の下に如何なる發達をなしたるか、蓋し其時代の需用を充たしたることは事實ならむも、算盤の上より之を見れば非常の損失を招き居る也、全体何程の事業と雖も官營にすれば算盤の上に於ては引合はざることは殆ど爭ふ可らざる事なりとす、此事に就ては余輩は屢々當局者に向て意見を吐露したり、然るに當局者に於ては何の見る所ありてか今日迄頑として余輩の意見に省る所なかりき、惟ふに貧乏なる韓國政府としては他に此等の事業をなすものなき場合に在つては兎に角相當の資本家及經營者の現れ來るときに於ては、之に向て自由に放資經營せしむるを可とす、然らば政府自身が經營するよりも遙に安價に且つ良好の物を製し得べし、今日の場合に於ては數年前の考を以て小官業の方針を繼續することは非也、而も斯る小官業は頗る贅澤にして不經濟の極と云はざる可らず、當局者と雖も今日に至りては最早其非を悟らざるを得ざるに至りしならむ、既に頓悟せる以上は一日も早く其方針を一變して、窮乏せる國庫より斯る冗費を支出せざることに注意するを肝要なりとす

余輩と雖も官業が全然非也とは云はず、唯韓國の今日は初期既に過ぎ第二期に入れるを以て若し官業を經營するならば個人の經營を以てなし能はざる大なる事業ならざるべからず、然らざれば何を苦んで窮乏せる財政を以て個人の爲し得る事業を贅澤に小官業を經營するの愚を爲し、而も財政の缺陷を生ずれば日本政府より之を補はざる可らずと云ふが如きは何れより見るも愚なる政策と云はざる可らず、余輩は當局者が小官業に對する覺醒の遲かりしを遺憾とすれども、今や其廢止を斷行するとの說を聞く庶幾其斷行の一日も速ならんことを希望するもの也。

東京電報

▲佛人の投資計畫 佛國巴里の有力なるシンジケートは資本金三千萬圓を投じて我國の金、銅、石炭、水銀等の各鑛の採掘を爲す計畫を立て申込み來りたれば日佛協同の法人會社を組織するに至るべし(十三日午前發)

▲勸業債券の發行 勸業銀行は第三十一回勸業債券百五十萬圓を九月二十日頃より發行すべし(同上)

▲日銀の利率引下 日本銀行は利子二厘を引下げ十三日より實行の旨發表せり(同上)

▲遞相と滿韓鐵道 滿韓鐵道の統一は不日後藤總裁韓國鐵道を視察し其上に決定する筈なり(同上)

▲滿洲の金融機關 滿洲金融機關設置の件に就きては勝田理財局長の反對なると大倉氏の意見未だ決せざるとに依り之を決定するに至らず更に滿鐵會社及正金銀行に其意見を徵したり(同上)

▲淸國政府の讓步 淸國政府は安奉線改築及び之に關聯する問題は我主張に讓り更に間島問題に附屬しては淸國權利を獲得するに全力を注ぐ模樣也

▲伊集院と那桐會見 淸國政府は那桐を天津より召還して十二日伊集院公使と會見せしむ改築工事以外の未決事項に就て調停を進むる方針也

▲韓皇太子の滿悅 韓太子は本日ニーカップ滯在牧塲にてアイヌの競馬其他を觀覽滿悅せられたり

▲村田中將の入京 村田陸軍中將は本日入京したり

▲無罪判決の上告 佐藤虎次郎、小澤愛次郎無罪の判決に對して檢事は上告したり(以上十三日午後着)

▲對淸問題と閣議 本日臨…

▲我守備兵の增派 安奉線守備兵不足の爲め更に增派すべしと

▲日本黄牛の輸入 …

雜報

●治道行政と夫役 (夫役方法の結果良好)

韓國富源の開發、教育の普及上第一喫緊事業なる道路改良の事業は第一期に二百五十萬圓の豫算を以て樞要中の樞要なる一部道路の改良を行ひたるが全体の上に見て之等は眞に九牛の一毛に過ぎず尚急施を要すべき改良工事は韓內全道に涉りて頗る多く之が經費は巨額を要するを以て到底韓國今日の財政に於ては百年河淸を俟つと一般治道の急を望むべくもあらず之を以て當局者は種々研究の結果統監府とも打合せの上嘗て我國の維新當時に行はれたる夫役の方法により此急要を充たさんと試みに全羅南道及び慶南晉州三千浦間の道路改良工事に夫役の方法を試みたるに頗る良好なる結果を收めたるを以て今後一般に及ぼさん計畫にて地方費を夫役現品にとり之が施行をなすべく目下研究中なりといふ

●平南洪水の慘狀 (人畜の死傷頗る多し)

平安南道に於ける水害は成川、江東兩郡最も甚だしかりし由にて今兩郡の溺死者及び流失家屋を聞くに成川郡に於て溺死者百〇四名、家畜四百六十一頭、流失家屋七百十七、崩潰同八百二十九、浸水同一千三百九十三、流失及覆砂礫田畑九百六十八町步、浸水同一千四百五十六町步にして江東郡に於ては溺死七名、家畜七頭、崩潰家屋三十九、浸水同八十九、被害田畑九百八十五町步なりと

●各道施療院の新設 (差當り三ケ所の新設)

今度其筋にては觀察道所在地に施療院を設置し一般患者の便利に供する方針にて先づ淸州、全州、咸興の三ケ所に模範的施療院を新設し追つて各道に普及する事に一決せりといふ

●在韓小學兒童と父兄

在韓小學兒童と父兄との關係は父兄の教育觀本國に比して著しく優良にして其原因は地方的關係に乏しき海外にありて智力競爭の烈しき結果自然兒童の教育に重きを置ける結果教育費用の如き速かに提供するの美風あり是等は全く本國に特異の現象にして其原因と見るべきなり小學校の校訓としては在外志想を涵養すべく自重心の養成及び祖先の亞細亞大陸に發展したる歷史を常に兒童の心理に刻むべく注意せり又兒童の心理的狀態に於て全く本國と特異の點を擧ぐれば左の如くなり

一、地方的關係の乏しき社會上より受くる感化と在外觀念の結果自ら進取獨立の氣風に富む
二、第一の結果自然粗笨に流るゝの嫌あり
三、對韓人輕侮の風潮より誘發さるゝ傲岸なる氣風
四、社會組織に原因する公德の缺乏
五、貯蓄心に乏しき事
六、敎鞭及管理に於て各自程度の異殊なる爲合的によりて之を融合する點に敎鞭上大なる困難あり

●國稅未勘金整理結果

開國五百三年(甲午)以降隆熙元年に至る既往年度に於て當該官廳が公錢を犯逋したる金額は概算四百三十七萬餘圓にして之を整理するため隆熙三年四月を以て之れが整理に關する法律及勅令を發布したるが本年四月に至りては度支部の官制を改正して整理に着手せし以來本年九月末までの結果は調定額に於て百萬八千二百七十八圓六十七錢一厘納入額三萬二千二百三十六圓五十三錢八厘未納九十七万六千〇四十二圓十三錢三厘なりと

●韓人漁業補助金下附

從來韓國近海に於ける日本漁業者に對しては統監府より水產組合へ補助金を下付して相當保護の途を講せしめ來りしも韓人漁業者に就ては何等の設備なきを以て韓國農商工部にては大に遺憾とし今回同組合へ特に一萬圓を補助し日本漁業者と共に保護取締を爲さしむる事に決し幾に統監の同意を求めつゝありしが一昨十二日付を以て承認の指令を回付せられたり

●天主教會の學校設立

京城明治町(鐘峴)三丁目天主教會にては同教會發展策として國民教育を進興する必要上學校を建築する計畫なりと

學校なるものを建築の豫定にて目下北部三淸…

●三稅滯納處分の訓令

韓國に於ける家屋稅、酒稅、煙草稅の三稅滯納處分執行に關し石塚長官は此程各理事官に對し左の如き訓令を發したり

本年統監府令第十五號により理事官が韓國家屋稅外二稅法の稅金滯納處分を執行せる場合に於て其の納入義務者又は財產所在地の遠隔又は危險の地に在る時は便宜所轄警察官をして執行せしめらるべし

●驛屯土收入本年豫算

既往四年來の驛屯土收入は千九百〇六年二十五萬圓同七年五十四萬八千八百〇三圓同八年七十五萬圓にして本年度豫算は百三十七万八千六百四十七圓なりと

●地方官吏交際費給與

地方發達と共に地方官吏の出費多き由にて各地主要なる道主事より交際費を要求し來るを以て內部は來年度の會議に附するに至るべし

●來年度勸業費豫算額

農商工部所管の本年度勸業費豫算の總額は四百六千七百八十三圓に決定せる由

●法權問題參與官會議

法權實施に關する準備事項に就き昨十三日各參與官統監府に參集して會議する處ありたりと

●歐米警察見聞錄 松井警務局長の著述に係る歐米警察見聞錄は今般東京警察協會にて出版發行することゝなしたりと

●大韓開國紀念日 今十四日は大韓開國五百十八年の紀念日に相當するを以て各官廳は業を休みて祝意を表すべしと云ふ

●警視廳員舟遊會 警視廳員は今十四日の開國紀念日を期し龍山に舟遊會を開催する由なるも雨天なれば十五日に延期の筈

●民團と瓦斯會社 (民團よりの要求內容)

京城民團が日韓瓦斯會社に對して道路の使用料を請求したるに付きては會社側に於ては之れに異議を挾み居るため其の交涉は今や斷絕の姿になり居ることとなるが民團より會社に下したる命令書の主たる條條は明治四十二年度に千二百圓四十三年度に六百圓四十四年度以後は年々三百圓を道路使用料として納付すべく若し又會社が利益を得るに至りたる時は純益金の內より線路延引の割合を比例し百分の五を納付することと公道民團の財產等には三割減にて瓦斯を供給すべしと云ふにありと

●朝鮮古書刊行會成立

朝鮮雜誌社長釋尾旭邦氏の發起に係る朝鮮古書刊行會は大岡、鮎貝、國分、前間、三宅、淺見、嶺、千葉、佐藤の斯界に熱心なる諸氏の賛援助力に依りて愈々成立し理事廳の認可も濟み一昨夜鮎貝氏宅に於て第一回評議員會を開催し發刊書籍の選擇、會員募集の方法等を協議し一兩日中には之が趣意書を發表すべく此舉に對しては曾禰統監を初め韓國宮內府側に於ても深く贊同の意を表し相當の便宜を與ふるとのことなれば同會の前途は頗る好都合なるべし又此會に依りて百金を投ずるも容易に得難しとする朝鮮の古書珍本類僅に十金にて得られ埋もれたる朝鮮の古文明を闡發され朝鮮研究者には非常の便益を與へらるゝことゝならん事務所本部は朝鮮雜誌社にして會員申込取次は京城日報社、日韓書房、大韓書林東京にては同文館の由なり

●各銀行會社上半期概況(九)

京城起業株式會社 社長 山口太兵衛 專務取締役 和田常一

資本金 百万圓 四分の一拂込
積立金 三萬八千圓
利益配當 年一割五分
現在貸出金 五十餘萬圓

會社は明治卅七年に合資會社として創立せられ三十九年に株式會社となる

此會社は韓國に於て必要缺く可らざるもの、銀行に於て不動產を擔保として貸金せざるを以て土地家屋を擔保として資金を調へんとするものは頗る金融の途に窮す然るに此會社は專ら不動產を擔保として貸金をなすを以て在留邦人の土地所有者は勿論韓人に取りては頗る便宜を得る也

此會社の決算期は每年三月九月の兩月なり故に玆に揭ぐる積立金及利益配當金は前年の下半期則ち本年三月の決算なりと知らるべし、

●本年の營業狀況 險惡なる經濟界の狀態は總ての事業に惡影響を與ふるは素より自然の數也、獨り貸金業のみ振ふの理なし、銀行及び其他の貸金業者が不況なるが此會社も亦其影響を免るゝ能はず、然れども此會社は前にも揭ぐる如く不動產擔保を專らとせるを以て他の保證手形商業手形のみを專一とする銀行等に比すれば經濟界沈衰の影響を受くること稍薄し現在貸出金五十餘萬圓に達し居るを見ても其一班を知るに足らむ 貸付金は不動產擔保最も多しと雖も動產及び信用手形の取引も少なからず 貸付日步は五錢より六錢五厘迄

●電柱使用料と徴收額

京城民團は其の所管地域にある電柱に對し一本に付き一ケ月一圓づゝを徴收する意嚮なるが其の總數は所管區域たる本町通り其他に於て約四百本ある由なれば每月四百圓の好財源を見出したる譯なるが電柱廣告を取扱ひつゝある當業者の云ふ處に依れば電柱一本に付六枚の廣告を帖り一ケ年六圓を得るのみなれば民團が之れに課稅するに至らば電柱廣告を爲す者無に至るべしと

發起に係る龍山運河會社にては瓦斯會社工…

…け鐵道廳所有地を永代無料貸下げ出願中

●八月上旬の外國貿易

八月上旬に於ける外國貿易の本年と前年の比較表は左の如し

區別	本旬 本年分	本旬 前年同期
輸出品價	二二八、二一三圓	三〇九、八四四圓
輸入品價	七一四、九三八	一、一六八、四〇一
合計	九四三、一五一	一、四七八、二四五
輸入超過	四八六、七二五	八五八、五五七

貿易額の港別は左の如し

港別	本旬 輸出額	本旬 輸入額
仁川	四九、七九八圓	三三二、四〇五圓
釜山	四三、〇〇四	九三、四七六
元山	一九、八〇〇	三八、一六四
鎭南浦	七五、〇六九	九一、九二九
京城	—	一一四、八六四
群山	一三、八九五	八、八九一
木浦	一〇、六八〇	一四、四〇三
馬山	五二〇	六、四四九
淸津	八	三、〇二七
城津	二、三九〇	八、五四八
新義州	一三、四九九	三、七五三
計	二二八、二一三	七一四、九三八

●三浦代議士漁區出願

代議士三浦覺一氏は去九日夜入京南山町二丁目堀內松十郎方に滯宿中なるが其用件は漁業區城(北韓明太魚)出願の爲めなりと

●淸韓貿易會社の解散

社長朴性根資本金五萬圓にて昨年十二月十五日認可を得たる韓人のみの經營に係る淸韓貿易合資會社は農商工部に解散を申請し來りしに依り十二日之を認可したり

●商會議員理事官訪問

中村商業會議所會頭增田同常議員秋吉、近藤の二議員は山口同書記長代理を從へ昨日三浦理事官を訪問して商業會議所の維持問題に關し理事官の意見を求めたりと

●五月末の國債現在額

本年五月末の調査に依れば韓國の國債は三千八百八十七萬〇九百七十三圓なりと

●日日社舟遊會

朝鮮日日新聞社の主催に係る納涼舟遊會は明十五日を以て愈々仁川港に於て開催さるゝ筈なるが既に京城に於ける申込者七十名に及び仁川又五十余名の申込を見たる盛況にて尙當日は地曳網及立網を以て會員の漁獵を恣にせしむべき由なれば定めし興味あるものならんと前景氣頗る盛んなり

●民團の事務成績

京城居留民團に於ける本年上半季間の文書收發件數は發六百三十九件收六千六百二十五件にして每日の取扱數平均二十五件なり而して事件の種別は左の如し

土地	四一
建物	六九
證明	八八
營業	二〇九
廢業	一一九
印鑑	一三
謄本	九
火葬	四三
居留	三三〇
轉居	二一五
退去	七九
出產	四三
死亡	三一
敎育	三一
雜	八二
計	一、二〇二

●兒玉書記官上京 兒玉統監府書記官は四十三年度豫定經費要求書の調製を了へ次第上京すべく出發期は多分十五六日ならん

●憲兵將校の更迭 京城憲兵分隊附荒木大尉は龍山憲兵分遣所長を命ぜられ龍山分遣所長大橋大尉は京城分隊付を命ぜらる

…判事の送別會を兼ね日本大學校友會を開催…

…より拘禁樓に於て政治視察の爲め渡韓せし…了て佐々木代議士、北村、石橋兩判事の挨拶あり酒間、松井警務局長、三宅支部長の…演ありて和氣藹々の裡に閉散せしは午後…

●兩名士の追悼會 故國友重章、恒屋盛服兩氏の追悼會は舊友知己の催ふしにて今十四日午後二時より本願寺別院に於て執行

●京城民會の召集 京城居留民團にては五六日以內に臨時民會を召集する由なり

●南山本願寺說敎 今十四日は土曜日に付き午後八時より例の通り說敎あり

●梅法學博士歸朝 法學博士梅謙次郎氏は今十五日夜行列車にて歸朝する筈なりと

公人私人

▲土井朝松(安東縣商埠巡警總局衛生顧問)三日月旅館に投宿中十三日仁川へ向ふ
▲ヒーソル(宣敎師)同日開城へ向け出發
▲戶來秀太郞(勸業模範場技師)同日水原へ
▲ウエルボース(英國陸軍騎兵少佐)平壤へ
▲久米良作(日韓瓦斯重役)十二日天眞樓
▲柏原孫次郞(農商工部檢疫官)十二日浦尾
▲遠藤豐三郞(三等主計)十二日旭旅館へ
▲藤川利三郞(度支部書記官)同日地方出張

近事片々

▲暑い 々々と言へる間に何時しか立秋に入る光陰矢よりも急也れゝ寒いの聲も瞬間
▲萩花 女郞花桔梗苅萱の時季將さに來らむ鈴虫松虫の叢にすだく秋の哀れも亦近し
▲天高 く地淸く秋としなれば魚は油が乘り胃腑は健に復す秋は畢竟健啖善罵の時季
▲秋色 南山を染むるの頃は人心は頓に爽氣を覺ゆ何者か秋を哀れと唱へ初めたるか
▲淸津 港關稅免除に關し霞ヶ關と統監府と衝突せりと電報通信は報し來る是れ眞か
▲或は 然る事情もあらむ併し事實とすれば霞ヶ關の小心に呆れ返る今少し大膽なれ
▲斯る 事を一々氣にしては迚も大陸經營は思も依ぬ此斷に處する乃ち外交手腕也
▲精悍 なる伯小村病みて昔日の面影なし以下小ハイカラ皆平凡霞ヶ關は漠拔けの空
▲僅々 二三年間に京城の韓人四萬人餘減退せりと是れ輕々に看過すべからざる問題
▲二三 年前に十九萬餘なりし人口は今や十五萬に減ずと是れ優勝劣敗の結果ならむ
▲統監 政治以來無爲徒食の兩班輩が糊口に窮するに至れるは自然の數是非もなき事
▲地方 より中央に集る賄賂買官等の金に依て生活したる者共今や殆ど靑菜に鹽の態
▲雖然 人口の減少は此儘に放任するは不可宜救濟の方法を速に講ずるの必要あり
▲安奉 線工事に就て地方官憲例の狡策を弄して妨害を試むるとは甚だ不埒懲戒せよ
▲暗愚 なる地方官の干涉にて苦力共我傭入に應せず或は土地收用に妨害を爲さしむ
▲北京 政府は速に斯る地方官を黜く可し帝國政府は之を充分に詰責する權利ある也
▲安奉 問題に關しチャイナガゼットは頗る皮肉の論評を試む所論總て公正を缺けり
▲日本 は滿州を韓國同樣にせんとす奉天は永久に失はん日本は平和の攪亂者也云々
▲是れ 想像の中傷耳日本を以て平和の攪亂者とは何事ぞ日本は唯夫れ平和に竭す耳
▲斯る 亂暴なる放論には何人も耳を傾けずと雖も中傷的議論も玆に至て眞に極端也

▲對淸問題と閣議　本日臨時閣議を開き對淸問題に付き議する處あり小村外相●寺內陸相は參內闕下に伏奏せり

守備兵不足の爲め更に增派すべしと

▲臼井橫井の入獄　臼井哲夫、橫井時雄は控訴判決に伏罪し十五日入獄すべしと（以上十三日午後發）

京城明治町（舊號）三丁目天主教會にては同教務發展策として國民教育を進興する必要ありとし頃日東部惠化門掌內上柏洞の民家二十戶並に敷地附屬地を買收し大韓高等大學校を建築する計畫ありと

●運河會社に土地貸下　廣瀨長康、和田常一、木村宇一郞氏外數名の[illegible]ける鐵道局所有地を永代無料貸下げ出願中の處二三日統監府より許可せられたり

●日本大學校友會　去十二日午後六時半[illegible]判事の送別會を兼ね日本大學校友會を開催せしに會する者無慮二十餘名席定まるや岩本英夫氏は幹事を代表して歡送の辭を述べ[illegible]演ありて和氣藹々の裡に閉散せしは午後十一時頃なりしと

▲相談の相談

（何んでも御相談に應じ升）

◎問　私は親の爲め兄弟の爲めに現在娼妓を致して居りますが賤業婦だ淫賣婦だと人樣は人間でない樣に仰在いますが實際娼妓稼業は人間のする事ではありませんかしら、若し全く左樣なら直ぐにも止めます、何程親の急場を救ふても人間でない樣な事をすれば結局親迄人間でないことになります（原文總平假名廿二女）

◎答　れ答へする、親の金を持ち出して親の爲めに娼妓をして居る貴女方を已れが弄さみ物にする若樣方が人間であらつしやる以上は貴女方も立派な人間である、我儘勝手な加ふるに考への自分勝手な人間達の批評や惡口に恐れることが何あるものか、手にタコを拵へて飯を食ふのも足にタコを拵へて飯を食ふのも決して甲乙はない、要は心が浮々して居らねば夫れでよい、女にして纏まつた金を得るのは娼妓か藝妓をするより外はない、貞操とか何んとか云ふものを全ふして親兄弟を餓死させるよりは貞操を犧牲にして之れに安心の途を與へるのが高潔である、佛曰く『自分を墮してまでも人を救ふものは菩薩なり』と君の如きは即ち菩薩なり、惡口する奴あればオホヽヽと笑つて居るサ（係）●

◎問　小生恐妻去る三日出產いたしましたにつき人手の少ない爲め日本人の中婆さんにても雇はんかと思ひますが或る人は韓人の小供の方が却つて宜しと申しますが如何のものですか御相談致します（へ若い親）

◎答　此れと御見極めの御人あれば格別なれど日本人の中婆さんは却つて意地の惡い計りでなく假令中婆さんでも女である以上は產婦も多少心配する處があると思はねばならぬ、チ、女の身に成つて考へねば此れは分らぬが、然すれば韓童の方が其の心配もなし、却つて遠慮なく遂び使ふことが出來、れ菜なぞに文句も云はぬから却つて此方が上等であると思ふ、但し此れも身分は取り調べる必要は無論なりと知り玉へよ（係）

●韓商の破產

▲外人の野心から

一葉落ちて秋の來るを知るが如く一韓商の破產は偶々以て京城韓人側の金融事情が如何に切迫し居るかを知らしむるに足らんか、茲に今回破產の本尊と云ふは、

▲漢陽商會　にて鐘路通有數の舶來雜貨店なるが店主は李章魯とて本來は教育家なるが上下に交際の廣き爲人の爲に因り昨年八月頃今の商會を開きしなり李は其弟と共に日夜勉强し得意も相應に殖ゑて尠からず利益を收むるに至りしを以て漸々手を擴げ進んで承寧府に納品を爲す迄に至りしに何がさて承寧府は多額なる買上品の代金を中々に仕拂はざるを以てそれより資金の運轉に不自由を感じ始め加ふるに店主は先頃より病氣に罹り一ケ月餘も某病院に入院し從つて店の取締も思ふ樣に行かざることゝなりける間に

▲韓佛興業會社　のブリサントは元自分が關係せる三昌商會が漢陽商會の爲に商賣に敗を取りたるを以て其後韓啓商會なる舶來雜貨店を同じ鐘路通りに出して漢陽商會と競爭せしめつゝありしが漢陽商會が前記の如く少しく不如意となりたるを見込み茲ぞ同商會を倒すに屈强の機會なりと韓佛興業より漢陽に對して若干の賣掛け代金あるを幸ひ急に督促して果ては破綻を曝露せしむるに至りしなり

▲債權者　は銀行としては韓一天一にて日本側の商店としては辻屋龜屋明治屋なり之等債權者は李章魯の人物に同情を表し如何にもして漢陽商會を維持せしめたしと百方骨を折られたれども如何にせん腹に一物ある韓佛のブリサントは極端なる自由行動をとりて他債權者の言を聞かず他の債權者も止むなく手を引いて全く破產處分を爲すことゝなりたるなり。

▲債務高　は一萬圓內外なりとの事なるが此は漢陽商會が商取引より負へる債務にて店主李章魯個人の債務が幾許なるやは未だ不明なり。

●寢過して長崎迄

▲韓人仲仕の呑氣さ加減

仁川內洞居住仲仕業金得善（二十）と云ふは去る一日仁川港に入港したる英國船アチルス號の荷役に雇はれ作業し居たるが余り睡たさに同船內にて晝寢を爲したる處氣持の好き儘に翌二日午後二時まで前後不覺に睡り居り船員も知らざりしかば其の儘に出帆し去る五日長崎口の津に着したるより金は船長より十圓の旅費を貰ひ尙ほ長崎水上署よりの保護を受け一昨日仁川に入港したる信濃川丸にて目出度歸韓したりと

●詐僞大工の就縛　自稱千葉縣安房郡大山村三百十六番地平民當時京城本町七丁目六十三番戶大工職高橋熊次郞（三七）は本年七月中龍山齋賀雜貨店の仕事を請負ひし際當地壽町一丁目表具師桂萬吉へ袋戶棚の戶を注文し齋賀方へ屆け呉れと云ひ立去りたれば桂は之を調製し同家へ持ち行きしに代金は關係上前記熊次郞へ相談の上仕拂ふべしとの事故其儘になし居たるに熊次郞は桂よりの依賴なりと稱し齋賀より右代金を詐取して肩書の處に潛伏せるを南署の長野刑事が探知し昨日午前六時同處にて取押へ取調べたるに前記の事實自白せしを以て檢事局へ送らる因に同人は明治三十二年頃千葉縣北條裁判所に於て賭博犯にて重禁錮二十日に處せられ又昨年八九月頃當地大和町一丁目料理店森本某方にて二圓餘の無錢飮食をなし現場より逃走せし事をも申立たり

●田舍者の氣樂さ　一昨十二日午後一時頃仁川寺町二丁目飮食店都ずし方に三十四五歲位の男中食の爲め登樓し中食を終へ代金を仕拂ふて後ち一寸電報を打ちに行くとて黑紹羽織外數點入れの縮緬旅行用古鞄を置き立ち出でたる儘翌午前一時になるも取りに來らざるを以て樓主野長とよりて現品と共に屆出で其筋の命に依り現品は本人に於て保管中翌午前八時件の男漂然として該品を取りに來りしが本人は京義線宣川に藥種商を業とする丸山勝夫と云ふものにして前夜は以前よりの馴染なる敷島遊廓某樓の娼妓が久方振りに搗て加へて今夜は雨降りに付き泊つて明日歸られてはとの親切言葉につい引かされ實は古鞄を其儘に置きたる次第なりとは何んの事……

●京城將棋界　打續ての暑さに晝の疲れを凉臺に其凉を賑かすは若衆達のヘボ將棋にして其取口は恰も序の口前の相撲に等しく一分間に五番位の勝敗はあるなりされど今日の京城將棋界はまた昔日の比にあらずで成程ヘボも澤山あれども筋道の立つたヂヨセキを指す人も中々少くない其中尤傑出したるは大上某君だソウだが此方の指口は未だ拜見した事が無いまづ記者の知るところにては商人仲間では秋吉君で君は曾て久留米で四段の先生から指南を受けた程あつて一方の雄者たるを失はない辯護士では高橋君で其指振りより判ずれば秋吉君と殆んど互格であらうか今は世事を煩とし只盤面にのみ親しみ居らるゝ西川君は關根流の新手を應用せられ正に一方に覇を爲さんとするの勢を示し居る新聞記者仲間では大韓の戶叶君が今の處筆頭で其他は出るとまけである聞く今は釜山の龜山理事官は有段者で官吏仲間では君に及ふものがないとの事だが我大上君や秋吉君と如何なる手合になるか是非一遍指口を拜見したいものだ

●新町の不景氣さ　新町遊廓の昨今は非常の寂れ方にて一昨夜の如き遊客數僅かに五十七人此遊興費二百七十六圓二十九錢にして今是れが內譯をなさんに松榮は二人で八圓七十錢南山も二人で八圓二十四錢皆春が十二人五十八圓十七錢京城が四人で十九圓三十二錢月下は三人十八圓三十錢第一本店十一人五十八圓二十五錢高島屋が三人三十二圓六十錢大樹三人十五圓十錢山遊三人十一圓五十七錢第一支店六人二十八圓三十五錢滑月八人三十二圓十九錢とは到底算盤にも掛からざるべし

●財務主事の詐欺　智島郡財務署主事酒光義正（三八）は嚢に署長高俊相の隱結をあばき遂に高をして免官せしめし迄は善かりしも高の免官後自分亦隱結を發見したる關係者の請託を容れ賄賂を貪りて不問に附せしを此程其筋の探知する所となり官文書僞造詐欺取財犯として告發せられたりと云ふ人を呪はゞ穴二つかな

●歌舞伎座の開演

▲明十五日が返り初日

酷暑の爲め休演中なりし歌舞伎座は愈々明十五日新派彰義隊一座にて返り初日を爲す筈なるが初日の出し物は「一念力」にして特に當日に限り棧敷を除く外十五錢均一とする由尙は同座は從前の顏觸れ以外新に新顏數名加入し一座大車輪を以て演ずると云へば好芝居たる價値は失はざるべし

●怪しき男の徘徊　昨日午前二時頃長谷川町一丁目（軍司令官々舍橫手）を西部を負傷し洗足の儘徘徊せる怪しの男を巡回中の根本巡査が認め誰何せしも答へなく行過ぎんとするより取押へ取調べたるに兄の家を搜すものなりと云ひ又久敗他行して一昨日歸京せし爲め兄の家不明なれば徹夜之を尋ね居るなりとか又明日入營する故今夜丈け泊めて呉れ抔と出任せを語り住所氏名さへも判らざれば南部署へ同行取調べしに懷中物にて本人は石川縣珠州郡黑峯村三七番地平民細田染次郞（二十七）にして三日前より市內旭町三丁目五番戶牛肉商中川義三郞方に雇はれ居る事判明したれば雇主を呼出し引取らしめんとせしも應ぜず止むなく留置中

●旅の果で病付く　仁川花房町菊屋旅館に止宿中の新潟縣中蒲原郡上泉町石本小一郞三男順治（二五）と云ふは去月中旬同旅館に宿りたる以來脚氣病に罹り病床に呻吟する身となりたるが國元より送金なき爲め看護も思ふ儘出來ぬ所より警察に屆け出で行路病者として取扱はんとしたる所へ折善く國元より送金ありたれば直に高木病院に入院せしめたりと

●不潔なるラムネ　太平町二丁目二番戶有木はま長谷川町二丁目二十一番戶松木かね明治町二丁目百十七番戶橋本米吉等が各店頭にて販賣せる竹田林次郞及龍山松元藤吉郞の製造に係るラムネは瓶の掃除不充分の爲め雜物混入せるを其の筋に發見せられ一同將來を戒めらる

●淸韓人の掴合ひ　仁川水踰居住の韓人金永三と云ふは一昨日午後六時三十分頃牛角洞淸人畢樹正と云ふが水瓜を賣りに來り水瓜が安いの高いのと下らぬことより爭論を始め果ては組んづ轉らんずの喧嘩を打始めたるを巡行の警官に認められ支那巡捕廳に引き渡さる

●落し物と拾ひ物　仁川桃山町片川文吉と云ふは一昨日午後四時半頃日本公園より宮町一丁目の道路にて四圓六七十錢入りの財布を遺失し又同時頃濱町二丁目中本マツノ（十四）は歌舞伎座前にて十四錢を拾得し共に警察に屆け出づ

演藝

▲京城座　梅花美團は今明日間慈善興行を爲し其揚高を大坂大火罹災者に義捐する由同情の士は奮つて來觀すべしだ

▲歌舞伎座　明初日及び明後日藝題及び役割左の如し

十五日の藝題「一念力」全十場　吉田れたま（西井）子分吉松（仁科）信夫敏夫、娘れきみ（桂木）信夫菊江（河野）山口繁種（角村）母親れくら、高橋看護婦（中村）信夫有道、渡邊署長（松村）坂田三郞（愛澤）藝妓吉奴（三島）院長高安（美崎）澤木半五郞（篠崎）西浦勝造（北村）

十六日の藝題「乳姉妹」全七場　君江（西井）家扶品川（仁科）百合子（桂木）房江（河野）綾小路大尉（角村）澁澤妻てる子小間使みね（中村）高林家扶（大和）松平昭定（松村）高濱勇（愛澤）久米齋伯、紳士澁澤（美崎）松平昭信（篠崎）三室滋（北村）

家庭の讀物

▲狂ひ時計　時計を持たぬ人に活動の人は無い、又時計を有つて居ても其時計が狂ふた儘なれば、其人は活動の世の中に遠ざかつて居るのである、家庭に於ても其通りで時計の針の狂ふて居る家の妻君は必ず萬事に不規則である、更に動かぬ時計をかけて置く妻君は雜巾桶で茶碗を洗ふ人である。

▲座頭さん〳〵　紙で拵らへた人形に楊子を持たせて盃の中に座らせ、盃洗の水をくる〳〵と掻き廻して其盃を入れ、周圍より『座頭さん〳〵誰れに其杖指すのかへマダ〳〵』と唄ひ囃し、其盃が止まつて座頭の杖に指された人が歌ふなり、劍舞をするなりして興を遣る、これは小兒の遊びにも、大人の酒宴にも興ある遊びなり。

◀平民文庫▶

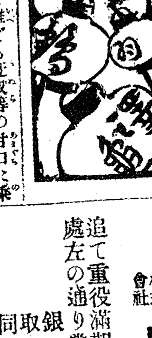
▲昨日迄暑しと呟きたるに今日は既に其の凉しきを喞つべく相成り申候餘り頭强ならざる若しくは羸弱を喞たれつゝある御人は等しく攝養肝要と存じ上候尤も秋冷を見て攝養を暴かにすること聊か盜賊を見て繩を綯ふの感なからずとせず候へども猶且つ盜賊を見て繩も綯はざるには勝るべくと存じ候（紅）●

▲世に嬉しきもの〳〵數はあれど常に如何あるべきやと憂慮しつゝある音信打ち絶たる友より文にも餘るべき加かも得意ならざる加かも憐れみを乞はさる書を手にしたる時程嬉しきはあらず（奮鬪之兒）●

▲植木屋と云へば語弊があるかも知れないが盆栽物を賣るもの程不眞目なるものは少ない五圓と云つたものを八十錢には必ずまける其の位なら初めから一圓若しくは一圓廿錢位に云へば宜いのに（無風流漢）▲十二日の夜西小門の日の出亭に鯨飮したる山田さん二階から小便は少し亂暴だねあんぜにかゝつたらいゝ、いゝ、はゝ、通行人や近所の人も迷惑する（紀伊亭伊太三）●

▲太平町の太平湯に十二日の六時半頃男女二人の小供を伴れて入浴して居た四十二三の人があつたが其三つ位の女の兒は眞倒樣に湯槽に陷つた、一人で二人の子供を伴れて湯坏に行くてとは考へもんだ（吃驚子）▲本町通りの樣な狹い道路で右だの左だのと云ふのが五月蠅位ひに思つたら彼んなに査公が奔走して取締つてるのでも猶取締りが緩漫だと譏託を吐く奴がある生意氣だ、オイ、何百圓も貰つて居ながら一〇田の監督さへも滿足に出來ねえ癖に生意氣なことを云ふな（とんぼ）●

▲八五郞君居を末廣の奧の庭園の廣き美屋にトしたりと吹聽し更に其の庭園の甚だ振はざるを白狀す、八五郞君の一家をトする既に破天荒？の擧なり奇麗な庭園も君の手に掛つては、と云つても他人には判らず結局は樂屋落ちなり（村崎）●▲魚遊痴史さんの奧さんは御病氣なんですつてね氣の毒に堪えないわ若しですね万一ですね妾の樣なれ多福でよければ朝夕のれ世話位致したいと思ふんですよ全くよ虛言ちやなくつてよ（きぬ）●▲なんて恍惚ける可らず魚遊君



如何に瘦せたりと雖ども迂奴等の甘口に乘るものか出直せ〳〵（小僧）●▲淫賣婦等が抱へ主を呼ふのにれ父さんれ母さんとやる一休全体何所で覺へて來るのか知らんが猿と角力を取つたり鮫ざ睨めつこを仕て居た僻に耳障りだ、れとーさん、れかーさん、へへ笑はしてはいけないいゝいゝ、いーい、（天草女）

廣告

電話開通　一一五三番

待合入船

京城南山町一丁目

マルソイド　新屋根材料　京城永樂町　藤原支店　電話八九番

資本金五拾萬圓　積立金七萬壹千圓　第六期營業報告

貸借對照表

負債之部

諸預金	六二二、五一〇、三九
仕拂送金爲替手形	一四〇、〇八
他店より借金	一七、四四五、三〇
資本金	一五〇、〇〇〇、〇〇
政府貸下金	二〇九、九〇九、〇〇
諸積立金	四九、五六三、五一
配當未濟金	四九七、一六
本期純益金	三〇、一四九、六二
前期繰越金	七、一〇五、七三
合計	一、〇八七、三二〇、七九

資產之部

貸付金	三五七、一六五、二九
割引手形	四〇三、一八七、五五
有價證券	一一、九一六、三五
他店へ貸	三、七〇五、四〇
預ケ金	一五五、二九四、六六
拂込未濟資本金	九八、五〇〇、〇〇
營業用地所建物	二三、六四六、四四
營業用什器	二、一六九、八八
假拂金	一、七三七、三三
金銀現在高	二九、九九七、九九
合計	一、〇八七、三二〇、七九

損益

一金五萬〇四百卅一圓卅四錢　本期總益金
一金七千百〇五圓七十三錢　前季繰越金
合計　金五萬七千五百三十七圓〇七錢
内
一金二萬〇二百八十一圓七十二錢　本期總損金
差引
金三萬七千二百五十五圓三十五錢　本期純益金

此配當計算左の如し

金五千圓　法定積立金
金一千圓　配當積立金
金一万四千圓　別途積立金
金一千圓　重役賞與金
金二千五百七十五圓　配當金（年一割）
金一万三千六百八十圓三十五錢　後期繰越金

右之通り相違無之候也

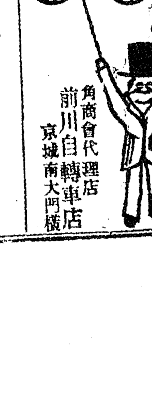
隆熙三年七月

株式會社 大韓天一銀行

支配人 遠山熙

追て重役滿期に付改撰相行ひ候處左の通り當撰致候

銀行長 李鳳來
取締役 尹晶錫
同 洪忠鉉
同 金時鉉
監査役 金基宅



▲EDP　品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尙優美の土耳古・埃及　金口莨及葉卷　各種（百本入七十五錢以上）大安賣　小賣速に御來店御試み給へ見本無代　卸　本町二丁目　直輸入商　日希商會

各種
洗濯石鹸
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●英文代書 通譯應聘 本町一の七五中村
●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通す不問職業被雇たし 氏名在社(四一三)
●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四一二)
●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)
●下女入用 年齢三十歳より四十歳迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)
●賣藥行商人數名募集 希望者は本人直接來談あれ 明治町三の一五七 水田藥房

物件部

●賣地 南大門より停車場に至る右側表通六十坪の賣地あり 氏名在社(四二〇)
●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家賃面談 氏名在社(四一五)
●貸家 若草町一にて温突二間續一間疊敷二間押込炊事場玄關付にて井戸の設置あり家賃十二圓若草町一の一二九矢島(四一九)

廣告

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城本町三丁目(電話四〇番)
出張所 同南大門驛構内(電話七三二番)

三輪井上兩博士の方劑
完全なる懐中藥
消化と毒けし

本舗森下博藥房

▲チョイト皆さん
仁丹一粒を召上れ、口から胸迄精々して何共言へない、よい氣持
懐中藥は仁丹に限ることよ

仁丹ですぐ治るのは
▲胸腹の痛 ▲消化不良 ▲氣ふさぎ
▲わる酔 ▲船車の暈 ▲頭痛目眩
▲二日酔 ▲りういん ▲むかつき
▲下痢 ▲吐瀉

利益買方
仁丹の五十錢包は十錢包の七倍分ある上につき楊枝入兼用懐中容器又は英國製家庭容器一個を無代添付す

本舗 大阪 森下博藥房

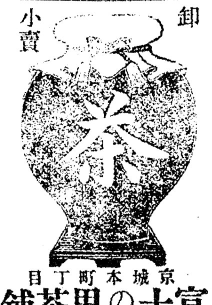
荒物世帯道具一切
大阪 合製白絞油 和洋蠟燭
和傘 岐阜提灯 魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目録御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帯道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 サッポロ アサヒ 麥酒
並に買次業
(西)
西崎嘉七本店
京城本町六丁目
電話長二一〇 電略(ニカ又はニ)
振替貯金口座東京(九四一七番)

販賣元 京城本町五丁目(電四七番)
仁川 松尾支店
搾取所 京城東四軒町(電…番)
松尾牧場
●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す弊場夙に此に留意し好良の食料を給す
●弊場搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

一 鴨緑江製材
一 北海道松材
各種板類一切
及小割類種々
右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度充分大勉強御高需に可應候
煙上支店 京城本町五丁目
山本村太郎
電話三七〇番

明治廿年七月創立
東京火災 海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

卸 小賣


京城本町丁目
富士の里茶舖
電話九七九番

名譽銀牌受領
キリンビール

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路
(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

京城南山町一丁目
南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり

●臺灣總督府專賣局製劑
消毒防臭防蟲劑
デシン
奏效確實 用法簡便 無毒安全 價格低廉
藥學博士下山順一郎先生發明
發賣元 神戸 後藤商店
代理店 京城 新井藥房

中元大賣出し
漬物味噌醤油製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、回精酎、穀物麵類、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長七〇一番)

移轉御披露
京城旭町三丁目十六番戸(三日月湯下隣)
東京生そば
東京庵
電話九五五番

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
諸官衙御用品調達
各學校御用品調達
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本 京城明治町二丁目 電話一一〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月二十九日午前三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月 九日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月 十七日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月 廿六日正午
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 八月十八日午後出
注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事
仁川海岸通 電話三八番
貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話十番

各科診療
松岡醫院
南山町二丁目
電話六七五番
入院隨意

待合 貸席
月の家
本町五丁目三八
電話一〇七四

●醫學士七名合同處方
平癒少量苑持藥として服せば體内の毒氣悉く下り變候にも耳鳴咽喉はれ痛む憂ひ更になし…を快くし腦及び胃腸を壯健ならしめ、眼かすみ、鼻口の爛を治し無病健全の幸福を得らる
●五驅梅院長 實驗證明
本舗 大阪 森下藥房

藥價	二日分	一週分	二週分	四週分	八週分
	十五錢	四十錢	八十五錢	一圓五十錢	二圓八十錢

代理店 京城 新井藥房

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金四十五錢 ▲三ヶ月…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金…
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松神久馬一郎
發行所 京城… 京城新報社 電話六三番